



# Y's Men's World



## 親愛なる友人の皆様

ワイズイヤー 2012-2013 における活動も間もなく半年が終わろうとしています。この数ヶ月間に授かった全ての恵みに対し神に感謝致しましょう。『両手を合わせて「ナマステ」と言うのがインド流のあいさつです。これは「あなたの中の神を崇拝します」という意味です。もしあらゆる人に笑顔であいさつすることが出来たら、そして人々を元気づけることが出来たら、あいさつをする側にもされる側にも幸福がもたらされるでしょう。

ワイズダムの皆さん全員が身近にいる同胞に対して、わずかでもご奉仕されていることを願います。もし社会に対する義務感を忘れなければ、神は尽きることなく私達を祝福して下さい。恵まれない者は貧困の中で生活をしています。それは裕福な者が必要以上のものを蓄えているからです。言い換えれば、裕福な者の行動によって貧しい者はより貧しくなっていくのです。これは罪です。神が与えて下さる全てのものは、それを必要とする人々に分け与えなくてはなりません。この世界に生まれたのは自分達の選択ではなく神のご意思です。裕福な環境に生まれる者もあれば赤貧に生まれる者もいます。資源は十分にあります、しかし欲深いわずかなお金持ちがその資源を思う存分握っているのです。そして大半を占める貧しい人々が生計の手段を立てることすらままならない事実を否認するのです。このような世界において、私達の活動の意味はより大きなものとなります。

各エリア会長、区理事、部長そしてクラブ会長の皆様  
がそれぞれのエリアで適切な援助を行って下さっている

ことを喜ばしく思います。6月に任期を終わられるまでに、今まで以上に力強く、自身が掲げる目標を超えていくことで目的を果たせるようお願い致します。誰が称賛を得るのかといったことに惑わされないでください。今年のワイズイヤーには新しいメンバー 3000 人と 200 の新しいクラブを開設するという目標があります。これは全エリア会長との協議の下、100 周年記念の 2022 年までにメンバー 5 万人・3000 クラブを達成することを見据えて立てた目標です。各エリアにはこの国際事業を達成する為の目標が与えられています。

何千人もの子供たちがアフリカや開発途上国においてマラリアに感染しています。クラブの中のメンバー1人につき1つの蚊帳を寄付することで子供たちを救いましょう。恵まれない状況に居る兄弟・姉妹達を救うため、私達の団結力を見せましょう。倒れかけている人に手を貸し、目標を達成するまで前進し続けて下さい。

皆様のご多幸をお祈りいたします。

国際会長 フィリップ・マータイ

### ご存知ですか？

2月は国際事業 Time Of Fast の強調月間です。

TOF の募金カレンダーが IHQ のウェブサイト

購入可能です。10言語に対応しています。

ダウンロードは以下からどうぞ

<http://ysmen.org/index.php?id=120>

## 国際会長ブリテン & 国際本部

## 国際議会組織についての投票

2010年11月に、2010-2011年度国際会長の藤井寛敏によって国際議会組織タスクフォースが設立されました。ワイズメンズと同等サイズの組織と比べると議会の規模が相対的に大きいことを指摘し、国際議会の組織を見直すといった使命がこのタスクフォースには与えられています。これまでは21人もの投票メンバーやお金を含む様々な資源があるにも関わらず、ワイズメンズ国際協会にプラスとなるような効果的な使い方がされていませんでした。多くの人が組織について「相対的に小さい」が「管理職が多すぎる」と言っていました。例えば「酋長ばかりが多くて働き手が足りない」という状況です。

タスクフォースは2011-2012年度国際会長のフィン・ペデルセンさんによって再任され、2011年12月の会議後は以下の様に全員の意見が一致しました。

- ・議会は縮小されるべきである。メンバーを21名から15名に減らすことで経費削減をし、さらに効率的で正確な決定を下し議会の生産性を高める。(平均すると毎年2500スイスフランの預金が可能となる)
- ・2議席を「青年メンバー」の為に用意する。青年メンバーが議会や組織全体に関われるよう推進する。
- ・1つのエリアにおいて最大議席数は3席を超えてはならない。青年メンバーの為に議席はこれに含めない。
- ・国際議員達の任期は3年から2年に減らし、議員選挙の頻度を上げ相応しい候補者に機会を与える。

この修正版で提唱されたうち重要なのは、「青年メンバー」という新たなタイプのメンバーが含まれていることです。青年メンバーとは憲法にも説明があるように26歳から39歳のメンバーを指します。大切なのは彼らがユースメンバーでもなければワイズユースクラブにも属していないのです。これらの青年メンバーは国際会費を支払っており、ワイズメンズクラブ、ワイズウィメンズクラブ、Yサ・クラブなど関連クラブのメンバーなのです。

以上が2011-2012年度の国際議員に提示され承認を受けました。しかしこの変更により国際憲法の変更も必



要となるため、各クラブもそれに批准しなくてはなりません。投票を行い少なくともクラブの3分の2がこれらの変更賛成する必要があります。

7月2日から9月28日の間に各クラブが投票出来るよう投票用紙を全区に配布しました。有効票数を確認し終えるまでに何時間も費やし、IHQは票数の数え直しやダブルチェックを行いました。結果があまりに僅差だった為です。そしてようやく、有効な票のうち3分の2以上の票を獲得しこれらの変更が認められました。

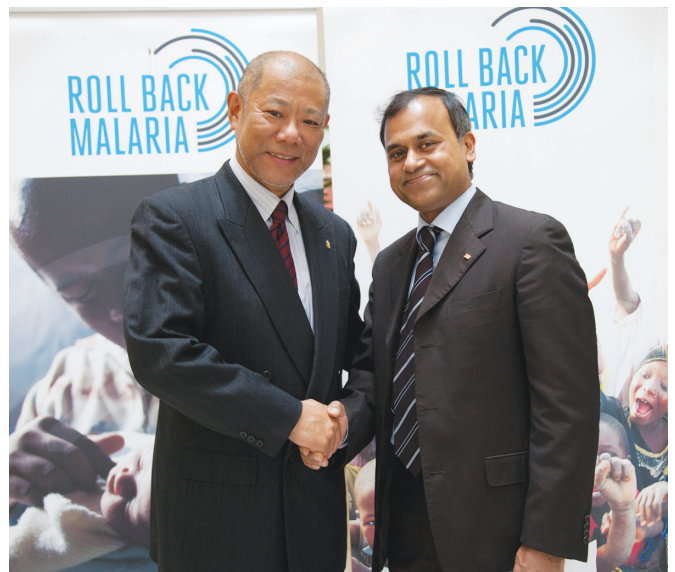
66.66%の票が必要でしたが、提案された修正内容に賛成をしたのは67.31%でした。新たな憲法はホームページの「ダウンロード」より入手可能です。

## ロールバックマラリアの進展

第2回目となるワイズメンズ国際協会ロールバックマラリア・パートナーシップの寄付金が国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) に渡されました。ジュネーブ事務局で小規模に行われたセレモニーでは国際書記長の西村隆夫さんが、IFRC の戦略的パートナーシップ及び国際関係の外交局長である Siddharth Chatterjee さんに誓約と共に渡されました。

2010年にこの5カ年活動を始めてから12万スイスフラン(12万9千アメリカドル)を超える資金提供がIFRCに対して行われました。2011年3月に日本で起こった地震津波に対する緊急支援活動直後では一時期寄付金額は少なくなりました。それでも今では元に戻り再びワイズメンズ国際協会は、2015年までに50万スイスフランを集める目標を達成できそうです。国連事業に今後ともご支援をお願い致します。

ワイズメンズ国際協会が資金援助を行っている活動詳細については今後の YMW に記載する予定です。



## ブラザークラブの業績?

インド・トリヴァンドラム  
Rebeccamma Thomas

インドの北トリヴァンドラムにあるワイズメンズクラブは1979年にチャーターされました。活動が始まって以来クラブや世界の仲間達と多くの活動を共にしてきました。最近このクラブはチャーターメンバー25名からなるトリヴァンドラムキング・ワイズメンズクラブのスポンサーとなりました。更に24のブラザークラブ、5つのクアトラングル、4つのトライアングルと繋がりを持っています。ISD及び前ICMのジョゼイ・ジョゼフさんはこのクラブのチャーターメンバーです。ワイズメンズワールドは北トリヴァンドラム・ワイズメンズクラブで話されている英語、デンマーク語、スペイン語、ロシア語で配布しています。



**Youth World**  
Y'S MEN INTERNATIONAL  
Y'S YOUTH  
YW ISSUE 56  
OCTOBER, 2012

**ICYC Norway 2012**

The 14th International Youth Convocation reached its conclusion on 5 August 2012. And we deemed it a success. The Norwegian hospitality, landscape and support to make this an unforgettable experience will be always remembered and on behalf of all those youth present we would like to say TAKK!

After days of discussions, learning, fellowship and FUN, we have all been left with the aftermath of missing our old friends and new ones. So here is a recollection of the best moments in Norway. For comments, testimonials and more pictures check out the magazine.

The Youth Committee looks forward to seeing you all in 2014 in Chennai, India!

**Global Projects**  
**Stop TB and Environmental Sustainability**

After long deliberations, the Youth Committee decided to introduce a second Global Project. This would focus on Goal 7 of the Millennium Development Goals (MDGs). The project will look into ways in which each area could improve, educate, research and understand the issues that stop each area from reaching the Millennium Goals. It is broad enough for each area to have something in particular they wish to work on, such as endangered species, water contamination, slums, deforestation, etc. Area India has demonstrated great initiative by starting their project where they believe they need it most.

Furthermore, Stop TB is a project close to our hearts and therefore it was decided to continue to pursue greater achievement in regards to the projects and ways to tackle it. Stay tuned for more information and future projects regarding Stop TB.

**INSIDE THIS ISSUE:**

- ICYC memories 2
- ICYC Testimonials 3
- Y's Youth Club Area Charter 8
- Stop TB and the new Global Project 9
- Area India- Community Cleaning 10
- Jinja Y's Youth Club Community Cleaning 11
- Visit to Hamburg, Germany 12
- IYR Letter 13

## グリーンチームの成功

グリーンチーム委員長  
コリン・ランビー

私達グリーンチームは環境にやさしいことを促進するために忙しい日々を送っています。ワイズメンズ国際協会から提供されたカーボンオフセットの資金で最近成功したのは、タイ・チェンマイのサンカンペン地区にある Banpatung Huaymor Dairy 生活協同組合でのことです。

4000 スイスフランを超える助成金がチェンマイ YMCA、YMCA 北部開発基金 (YNUF) そしてチェンマイワイズメンズクラブに割り当てられ、村には9つのバイオガスシステムが取り付けられました。バイオガスとは酸素の無い状態で有機物を分解する際に発生するガスのことです。植物や動物の糞や死骸、台所のゴミなど有機性廃棄物はバイオガスと呼ばれるガス燃料に変えることができます。以前は牛の糞を使い作物の肥料を作っていました。しかし農家の人々はその糞からメタンガスや亜酸化窒素が排出され大気やオゾン層に悪影響を与えることを知りませんでした。



このシステムが導入されてから全ての農家の人が、ガス料金が劇的に減ったことに気が付きました。他の農家もこの装置を取り付けるための方法を知るため、そして既に使用している人からアドバイスをもらおうと見学に来ています。フォローアップでは全ての農家を YMCA スタッフ



が訪ねました。彼らは上手くシステムを管理しており、いかに家計を助けているかが分かりました。彼らは毎月最大2タンク分の天然ガスを溜めています。近隣の村の農家も Dairy 生活協同組合を訪ねバイオガスの利点について尋ねています。地球温暖化への影響を減らし、出費も減る、さらに牛の糞から排出される亜酸化窒素も無くすることが出来ます。

グリーンチームのリーダーである私がこの事業現場を訪ねた際、バイオガスの利点だけでなく、この生活協同組合が代替エネルギーの学習センターとなっているのを見ることが出来ました。

ワイズメンズワールド  
2012/13年度第2号

編集者 アラン・ウィリントン

21 Overdale Road, Downend, Bristol BS16 2RU, England

Tel: +44 (117) 9568285 – スカイプphone: ysmanwally

email: editor@ysmen.co.uk

レイアウト協力 Graham Walker, Mike Bendrey & Carol Lunt

Distribution Josey Joseph/Pallamkulam, PTR 96  
Plamood, Trivandrum 695 004, India

Reprinted at S T Reddiar & Sons (EKM)  
Ernakulum, Cochin 682 035, India

メンバーのみに配信しております

今回の記事の締切は2013年2月15日です。